

ベルトレスリング（アリシュ）のルール

ベルトレスリング（アリシュ）はお互いのベルトを両手で掴み、いかに対戦相手を空中に浮かせて投げるかという競技で、クラシックとフリーの2つのスタイルがある。本大会はワールドマーシャルアーツマスターシップス本戦同様、男子部門はクラシックスタイル、女子部門はフリースタイルで行う。クラシックスタイルでは、相手の足がマットに着いた状態で足をかけて攻撃や防御することが認められていないが、フリースタイルは認められている。

1. 試合時間 3分×1ピリオド 延長戦1分（ゴールデンスコア）

2. スタートポジション

選手は、主審に名前を呼ばれてからマットの中央に移動する。主審の「アリシュ」という掛け声で選手はお互いに挨拶し握手をして、選手同士が向き合った状態で胸を合わせ、相手のベルトを両手で持つ。この際、お互いの左腕が相手の右腕の上に来るようにする（右よつの体勢）。その後、主審の笛の合図により試合が開始される。

3. 勝敗について

相手をフォールするか、テクニカルフォールする（相手と6点差をつける）、もしくは試合時間終了時点で多くの得点を取っていることで勝ちとなる。また、反則・消極的姿勢により審判に警告を3回告げられた時点で負けとなる。審判への侮辱・攻撃、金属など危険物の持ち込みは即失格となる。

4. 反則について

クラシックルールでは相手の足が地面についた状態で、相手に足をかけて攻撃や防御することは禁止されている。しかし相手を持ち上げて両足を浮かせた状態ならば、そこから足を使って投げることは認められている（樽投げ、跳ね腰など）。また、両ルールともに相手のベルトから手を離すことは反則となる。

5. フォールと得点について

フォール勝ち：フォールとは相手を背中から落とす投げのことで、フォールを決めた選手はその時点で勝利となる。

2点：相手の体を肩・腹・臀部・腿から落とす投げが決まれば、攻撃側に2点が与えられる。

1点：相手の両膝か片膝をマットに着かせると、攻撃側に1点が与えられる。

得点なし：攻撃側が投げを行った際、その投げが失敗してマットに攻撃側の背中や肩がついても、防御側の得点にはならない。また、膝がマットに着いた状態、帯が腰から下に回った状態での攻撃は全て無効となる。

警告：相手のベルトから手を離したり、胸を合わせず頭を相手に付けた状態で動かない等、消極的なレスリングを続けたと判断された場合は、審判により警告が与えられる。警告を3回与えられた選手は、反則負けとなる。

6. その他

- ・試合者が同じポイントを獲得している場合、「ショートグリップ」で1分間の延長戦（ゴールデンスコア）を行う。それでも決着がつかない場合は①ビッグポイントを取っている選手②コーションの数が少ない選手③ラストポイントを取った選手の順番で勝者を決める。

※ショートグリップとは相手の腰の後ろで帯を掴む時、両手の間隔を開けない状態のこと。

- ・試合ゾーン内で技をかけた後、場外の外に出て、技の効果が認められた場合、それは有効である。
- ・帯が腰から下に回ると試合を一時中断し、帯を腰から上の位置に戻し試合を再開する。